

「域学連携」実践拠点形成モデル実証事業 採択団体

団体名	連携大学	事業概要
山形県 金山町	筑波大学、横浜国立大学等 4 大学	廃校を活用し、地域資源を展示物としたエコ・アート・ミュージアムの構築を目指し、学生が地域資源の調査・収集を実施。
千葉県 館山市	千葉大学、東京大学、九州大学	学生と地域住民が協働して古民家の茅葺き屋根を葺き替え、古茅を畑の肥料に使うことなどによる循環型社会の実践及び拠点を充実させ続ける取組を実施。
長野県 阿智村	名古屋産業大学	使われていない旅館の従業員宿舎を拠点とし、学生が地元観光産業等との協働による就業体験及び地域資源の発掘を実施。
兵庫県 篠山市	神戸大学、立命館大学	地域と大学・学生によるコミュニティビジネス創造の拠点の構築を目指し、学生が地元職人指導のもと空き家の改修を実施。
熊本県 菊池市	九州大学、熊本大学等 6 大学	古民家を活用して大学が地域で活動する拠点となるラボを構築し、コース別の課題への取組や新たな地域づくり人材の発掘を実施。